



VOICELIVE *play*
HARMONY & EFFECTS FOR SINGERS

ユーザー・マニュアル

v1.8

●目次

●クイック・セットアップ ······ P03

●接続 ······ P05

●基本機能 ······ P06

●ボタンの役割 ······ P10

●セットアップ

 入力 ······ P11

 出力 ······ P14

 グローバル設定 ······ P15

 ループ機能 ······ P16

 システム設定 ······ P17

●搭載エフェクト ······ P10

μ Mod モジュレーション ······ P19

 Delay (ディレイ) ······ P20

 Reverb (リバーブ) ······ P21

 Harmony (ハーモニー) ······ P22

 Double (ダブリング) ······ P23

 HardTune (ハードチューン) ······ P24

 Transducer (トランスデューサー) ······ P25

●ミックス設定 ······ P26

●Practice (練習) モード ······ P27

●トラブル・シューティング ······ P28

●プリセット一覧 ······ P27

● クイック・セットアップ

下記にご紹介するのはVoiceLive Playの使用例です。VoiceLive Playは多彩なセットアップが可能ですので、使用例はあくまでも一つのスタート・ポイントとして参考にしていただき、お客様の用途によって最適なセットアップを構築されることをお勧めします。

● ヘッドフォンのみお持ちの場合

- 1) 「Setup」ボタンを選択し、「INPUT（入力）」ページに進みます。
- 2) 「ROOMSENSE」メニューで「VOICE（声）」を選択します。
- 3) 「BACK（戻る）」ボタンを押します。
- 4) 製品本体にヘッドフォンを接続します。
- 5) 発声しながら「MIX（ミックス）」ボタンを押し、「HEADPHONE LEVEL（ヘッドフォン・レベル）」を適切な音量レベルに調整します。
- 6) レベル調整が終わったら、「BACK（戻る）」ボタンを押します。
- 7) コントロール・ノブを使用し、任意のプリセットを選びます。「HIT」ボタンで効果の変化をお試しください。

●マイクとヘッドフォンをお持ちで、ピアノやギター（アコースティック、もしくはアンプに接続したエレキ）など 大き目な音量が出る楽器を使用する場合

- 1) 「Setup」ボタンを選択し、「INPUT（入力）」ページに進みます。
- 2) 「INPUT（入力）」メニューでお持ちのマイクの種類を選択します。
- 3) 「ROOMSENSE」メニューで「AMBIENT/AUTO（アンビエンス／自動）」を選択します。
- 4) 「BACK（戻る）」ボタンを押します。
- 5) 製品本体にマイクを接続します。
- 6) マイクに向かって発声しながら本体側面のマイクゲイン・ツマミで入力LEDが緑色になるよう、入力レベルを調整します。

※LEDが黄色の場合でも大丈夫ですが、赤色になると歪みノイズが発声しますのでご注意ください。

- 7) 製品本体にヘッドフォンを接続します。
- 8) マイクに向かって歌いながら、楽器を演奏してみましょう。
- 9) 「MIX（ミックス）」ボタンを押し、「ROOMSENSE」及び「HEADPHONE（ヘッドフォン）」レベルを調整します。
- 10) レベル調整が終わったら、「BACK（戻る）」ボタンを押します。
- 11) コントロール・ノブを使用し、任意のプリセットを選びます。

※ハーモニー・エフェクトが含まれているプリセットを選択した場合、製品本体に内蔵されているROOMSENSEマイクが楽器の音を検知し、自動で楽曲のキーにふさわしいハーモニーを生成します。

●マイクとPAシステムをお持ちで、バンド内で使用しながらハーモニー・エフェクトを使いたい場合

- 1) 前例のステップ1~6を行います。
- 2) PAシステムのアウトレベルを下げ、XLRケーブルを使用し、VoiceLive Playの出力とミキサーの入力を接続します。
- 3) 「MIX（ミックス）」ボタンを押し、「ROOMSENSE」をOffにします。
- 4) 「BACK（戻る）」ボタンを押します。
- 5) マイクに向かって歌いながらミキサーのアウトレベルを徐々に上げ、声とバンド演奏とのレベル調整を行ってください。
- 6) コントロール・ノブ、もしくは「▲Up/▼Down」ボタンを使用し、任意のプリセットを選びます。

※ハーモニー、もしくはHardTuneエフェクトが入っているプリセットをお試しください。

VoiceLive Playは自動で楽曲のキーに合ったハーモニー/HardTune効果を演出します。

VoiceLive Playがうまく楽曲のキーを検知できない場合は、製品本体をギターアンプやキーボード・スピーカーなど、楽曲の根幹となるキーを鳴らしている機器に近づけてみてください。

● クイック・セットアップ

● mp3プレイヤー/コンピューターの音楽に合わせて、カラオケ練習をしたい場合

★mp3プレイヤーを使用する場合は、mp3プレイヤーを製品本体のAUX入力端子に接続します。

★コンピューターからの音声をVoiceLive Playに取り込みたい場合は、付属のUSBケーブルを使用してコンピューターと製品本体を接続します。
お使いのコンピューターのオーディオ・コントロール・パネルで、VoiceLive Playをデフォルトの出力デバイスに設定してください。

※お使いのコンピューターのOSによって、オーディオ・デバイスの設定方法は異なります。

詳しくはコンピューターの取扱説明書をご参考ください。

ボイス・キャンセリング機能を有効にし、再生する楽曲のボーカル成分を取り除きたい場合は、下記手順で設定してください。

- 1) 「SETUP (セットアップ)」ボタンを押します。
- 2) 2ページ目の「OUTPUT (出力)」メニューにアクセスします。
- 3) 「VOICE CANCEL (ボイス・キャンセル)」の横の青いソフト・ボタンを選択します。
- 4) コントロール・ノブを使用し、ボイス・キャンセリング機能を「ON」にします。
- 5) 「BACK (戻る)」ボタンを押します。
- 6) 任意のプリセットを選択します。
- 7) mp3プレイヤー/コンピューターの音楽再生ソフトで楽曲を再生します。
- 8) 歌ってみましょう！

● ループ機能を使用する際のティップス

ループ機能を上手に使いこなすには、練習あるのみ！きれいなループを完成させるには、「PLAY (再生)」、「REC (録音)」、「O-DUB (オーバーダブ)」ボタンを押すタイミングを体で覚えることが重要です。ダウンビートに注意しながら繰り返し練習しましょう。

元となる最初のループが完成したら、一旦LOOPモードからEXITして、ループ・オーバーダブ用に違うプリセットを探してみましょう。多彩なエフェクトで構成されたループはそれだけでイマジネーションを刺激し、いろいろなアイディアを自然と呼び起こしてくれます。

O-DUBボタンを使用しオーバーダブ・レイヤーを追加していく際は、毎回ループの再生/停止をしなくても大丈夫です。オーバーダブ・レイヤーに追加された音声は、「UNDO (やり直し)」を実行することで一気に全て削除することが可能です。（削除した内容を復元したい場合は、再度「UNDO」を実行します。）

別売りのTC-Helicon社製「Switch-3」リモート・フットスイッチを接続すれば、VoiceLive Playの「▲Up/▼Down」スイッチを使用しなくとも、1アクションでループ機能にアクセスすることが可能になります。これにより「▲Up/▼Down」スイッチはキー/スケール選択用に確保でき、また毎回LOOPモードからEXITしなくてもプリセットを変えることも可能となります。

Switch-3をVoiceLive Playで使用すると、Switch-3の3つのフットスイッチは自動的に下記の操作が割り当てられます。

スイッチ1 : REC (録音) / PLAY (再生) / O-DUB (オーバーダブ)

スイッチ2 : ストップ/クリア (長押し)

スイッチ3 : UNDO (やり直し)

UNDOボタンを独立して用意することにより、長押しが有効になるまでのタイムラグを気にせずにやり直しができるようになります。

ご注意ください : Switch-3をVoiceLive Playに接続すると、VoiceLive Playの「▲Up/▼Down」スイッチは自動的にキー/スケール選択機能が割り当てられます。一度「▲Up/▼Down」スイッチにキー/スケール選択機能が割り当てられると、Switch-3を外してもその機能は残った状態になります。「▲Up/▼Down」スイッチを再度ループ機能に割り当てたい場合は、「SETUP (セットアップ)」メニューにて設定を行ってください。

●接続



電源入力：付属のパワーサプライを接続します。

USB端子：VoiceLive Playをコンピューターを接続する際に使用します。付属のUSBケーブルをご使用ください。無償提供の「VoiceSupport」アプリケーションを使用し、プリセットの管理やファームウェアのアップデートが行えます。

ヘッドフォン出力：ヘッドフォンを接続します。

メイン出力：ミキサーやオーディオ・インターフェイスに接続します。ハムノイズ防止のため、必ずバランス・ケーブルをご使用ください。

Switch-3入力：Switch-3リモート・フットコントローラーを（別売）接続用端子。Switch-3に付属されるTRSケーブルをご使用ください。Switch-3を使用すると、ループ機能へのアクセスが容易になります。

AUX入力：mp3プレイヤーを始め、お好きな音楽再生デバイスを接続できます。接続には1/8インチ・ミニジャックをお使いください。ここから入力された楽曲を元に、VoiceLive Playはキー／スケール情報を自動で検出します。

マイク入力：ダイナミック／コンデンサー両マイクタイプに対応します。TC-Helicon社製MP-75マイクを接続すると、直接マイクからプリセットに組み込まれている機能のOn/Off操作が可能となります。接続するマイクによって種類とレベルを設定してください。

ご注意ください：電源は必ず付属の専用パワーサプライをご使用ください。専用パワーサプライ以外の電源で使用して発生した製品の不具合は、保証対象外となります。

●基本機能



VoiceLive Playにマイクを接続し、マイクの種類（ダイナミック／コンデンサー／MP-75）を設定したら、マイクゲイン・ツマミでマイクの入力レベルを調整します。

入力レベルを調整する際は、VoiceLive Play上面の入力LEDにご注意ください。

緑：適正入力レベル

黄：適正入力上限レベル

赤：過大入力レベル

LEDが赤色に点灯すると、出力が歪みノイズの原因となります。

●基本機能



●LCDディスプレイ表示項目

- 1) プリセット名（ここでは「GEEDIT STARTED」）
- 2) プリセット番号（ここでは「27」）
- 3) **FAV**：選択したプリセットが「FAVORITE（お気に入り）」ボタンでお気に入り登録されていると表示されます。
- 4) **NP**：NaturalPlay自動キー／スケール検知が作動していると表示されます。
- 5) **LOOP**：バックグラウンドでループが再生中の時に表示されます。
- 6) **GENRE**：「GENRE（ジャンル）」ボタンでジャンル指定している場合に表示されます。（ここでは「POP」）

●基本機能



●フットスイッチの機能

- 1) **▲UP/▼DOWNスイッチ**：プリセットを切り替える際に使用します。1回押すと隣のプリセットに移動します。長押しすると、プリセット間をスクロールすることができます。
- 2) **HIT/TALKスイッチ**：通常動作では、このスイッチを押すと予めプリセットに組み込まれている追加工フェクトがOn/Offされます。同一プリセット内で、コーラス部のみにハーモニー・エフェクトをプラスしたい時などに使用します。
- 3) HIT/TALKスイッチを長押しすると、VoiceLive Playは「TALK (MC)」モードになります。TALKモードが作動中の時は、エフェクト類が全てミュートされ、マイク入力の信号はそのままメイン出力にバイパスされます。曲間のMCなどで使用するのに便利です。
- 4) ▲UP/▼DOWNスイッチを同時に長押しすると「LOOP (ループ)」モードになります。LOOPモード時では「▼DOWN」スイッチはREC (録音) /PLAY (再生) /OVERDUB (オーバーダブ) の機能を果たし、「▲UP」スイッチはストップ/クリアを行います。LOOPモードを終了するにはHIT/TALKスイッチを押します。ループが再生中にLOOPモードからEXITし、別のプリセットに切り替えてから再度LOOPモードに入り、オーバーダブを行うことも可能です。「▼DOWN」スイッチを長押しするとUNDO (やり直し) 操作が実行されます。

※初期設定では、▲UP/▼DOWNスイッチ同時長押し操作はLOOPモードへのアクセス機能として割り当てられています。「SYSTEM (システム)」メニュー内の5ページ目でこの機能はキー/スケール設定機能に変更することも可能です。詳細は下記を参照ください。

- 5) 「▲UP」スイッチとHIT/TALKスイッチを同時に長押しすると、タップテンポ機能にアクセスできます。本機能は、ディレイなどのエフェクトを楽曲のテンポに合わせる時に使用します。タップテンポ機能が作動すると、現在のテンポがディスプレイに表示されます。HIT/TALKスイッチを楽曲のテンポに合わせて押すと、テンポが変更できます。HIT/TALKスイッチを一定時間踏まないと、自動的にタップテンポ機能が終了し、通常のプリセット画面に戻ります。

- 6) ▲UP/▼DOWNスイッチの同時長押しでキー/スケール設定機能にアクセスできます。本機能は、ハーモニーやHardTuneなどのエフェクトを適切に生成する際に必要となる楽曲のキー/スケール情報をマニュアルで設定する場合に使用します。

※楽曲のキー/スケールが分からぬ場合は、楽曲の一番最後に使用されるコードをキーに、「Major 2」をスケールに設定してみてください。世に存在するポップソングの大半は、この設定で効果的なハーモニー/HardTunen生成が可能です。

●基本機能



●コントロール・ノブ、及び矢印ボタン

コントロール・ノブはプリセットを移動したり、各編集メニュー内の設定を調整する際に使用します。矢印ボタンもプリセットの移動や、スタイル／ジャンルを切り替える際に使用します。

●BACK (戻る) ボタン

現在のメニュー画面やモードからEXITする際に使用します。

●STORE (保存) ボタン

プリセットをカスタマイズした際に、その変更内容を保存する時に使用します。1回押すとプリセット名や保存場所を指定する画面が表示されます。再度押すと、指定した名前と場所にプリセットを保存します。

プリセット名の変更：STOREボタンを1回押した後で、「◀」の矢印ボタンで文字／数字を変更します。

保存場所の変更：STOREボタンを1回押した後で、「▶」の矢印ボタンで保存場所を指定します。

もしプリセットに加えた変更内容を保存たくない場合は、BACKボタンを押します。

ボタン類の詳細は次ページにてご確認いただけます。

●ボタンの役割

●ソフトボタン

VoiceLive Playの上面には、LCDの左右両側に3つずつ、合計6個のソフトボタンが配置されています。各ボタンは、ディスプレイに表示されているページ内に使用できる項目がある場合にのみ、白色、もしくは青色に点灯します。白色に点灯している場合は、ボタンに印字されている機能が使用できます。青色に点灯している場合は、ディスプレイに表示されているボタンの横の項目を選択／非選択するのに使用できます。



●GENRE（ジャンル）ボタン

プリセットをソートするボタンです。ソート基準は楽曲のスタイルやエフェクト・タイプ、アーティスト＆曲名など、複数用意されています。「GENRE（ジャンル）」メニュー内のナビゲーションはコントロール・ノブで行います。「BACK（戻る）」ボタンを押すと、選択されているソート・ジャンルに格納されているプリセット一覧が表示されるメイン・ウィンドウに戻ります。1つのプリセットは複数のソート基準を有する場合があります。

●FAVORITE（お気に入り）ボタン

特定のプリセットをお気に入り登録しておくと、再度そのプリセットを呼び出したい時に素早く行えるようになります。お気に入り登録するには、登録したいプリセットが呼び出されている状態で「FAVORITE（お気に入り）」ボタンを押すだけです。お気に入り登録されたプリセットは、上図の様に、LCDディスプレイの右上に「FAV」と表示されます。複数のプリセットをお気に入り登録しておくと、「GENRE（ジャンル）」ボタンでソート機能を使用した時に、ソート基準の一つに「FAV」が表示されます。ここで「FAV」を選択すると、お気に入り登録してあるプリセットの一覧が表示されます。

●セットアップ | 入力

VoiceLive Playの各種入出力設定は、「SETUP（セットアップ）」ボタンでアクセスできるセットアップ画面にて行います。



●Mic Type (マイク・タイプ)

本項目では、使用するマイクのタイプ（ダイナミック／コンデンサー／MP-75／USB）を設定します。

1) DYNAMIC MIC (ダイナミック・マイク) :

SHURE SM-58やAUDIX OM5などのダイナミック・マイクを使用する際に選択します。

2) CONDENSER MIC (コンデンサー・マイク) :

SHURE Beta 87Aなどのコンデンサー・マイクを使用する際に選択します。

3) MP-75 :

TC-Helicon社製MP-75マイクを使用する場合に選択します。MP-75にはマイク本体にコントロール・ボタンを搭載されており、手元からVoiceLive Playを遠隔操作できます。初期値では、このコントロール・ボタンはVoiceLive Playの「HIT」ボタンのOn/Off操作が割り当てられています。

4) USB :

USBポートからデジタル・オーディオをVoiceLive Playに流し込むことができます。USB Left、もしくはUSB Rightが選択可能で、DAWからのモノラル音声を取り扱えます。

●RoomSense

本項目では、VoiceLive Play本体に搭載されているステレオ・コンデンサー・マイク（RoomSenseマイク）の機能を設定します。

1) AMBIENT (アンビエンス) :

RoomSenseマイクで拾われた音はヘッドフォン出力へ送られます。RoomSenseマイクのレベルは「MIX（ミックス）」セクションで調整できます。フィードバックを防ぐため、RoomSenseマイクで拾われた音はメイン出力には送られません。

2) AMBIENT/AUTO (アンビエンス/オート) :

RoomSenseマイクで拾った音をヘッドフォン出力に送るのに加え、この音声信号から自動的に楽曲のキー／スケール情報を解析するモードです。VoiceLive Playは単一の楽器／バンド・アンサンブルに関わらずキー／スケール検知が可能で、この情報を元に適切なハーモニーとHardTune効果を生成します。

3) Voice (声) :

マイクをお持ちでない時に、ボーカル入力用に使用します。音声はヘッドフォンにのみ送られます

●セットアップ | 入力 (続き)

●AUX In Type (AUX入力タイプ)

ハーモニー・エフェクトをより正確に生成するために、AUX入力端子から外部音声を取り込みます。AUX入力タイプは次の2種類から選択できます。

1) LIVE (ライブ) :

ライブで使用する場合、もしくはDAWからボーカル・ガイドトラックを流し込む際に選択します。

2) TRACKS (トラック) :

mp3プレイヤーなどから既存曲を流し込む際に選択します。

●Mic Control (マイク・コントロール)

TC-Helicon社製「MP-75」マイク（別売）を使用する際の、マイク本体のコントロール・ボタンの機能を設定します。

1) HIT :

VoiceLive Playの「HIT」ボタンのOn/Offが操作できます。

2) HIT + TALK :

VoiceLive Playの「HIT」ボタンのOn/Offが操作できます。

また長押しすると「TALK (MC)」モードに入り、全てのエフェクトがバイパスされます。

3) PRESET UP (プリセット・アップ) :

次のプリセットに切り替えます。

4) LOOP (ループ) :

RECORD（録音）／PLAY（再生）／UNDO（やり直し）と言ったループ・モードでの操作が可能となります。

●Tone Style (トーン・スタイル)

アダプティブ・トーン（EQ + コンプ + ノイズゲート）のスタイルを9種類の設定の中から選択できます。

1) OFF : アダプティブ・トーン適用なし

2) NORMAL (ノーマル) : 適度なダイナミックス処理を加え、ナチュラルな音声に仕立てます。

3) LESS BRIGHT (高域抑えめ) : NORMALに比べ、高域を少し抑え気味のEQを施します。

4) NORM + WARMTH (ノーマル + ウォームス) : 中域を少し持ち上げ、温かみのある声に仕立てます。

5) MORE COMP (コンプ強め) : 強めのコンプを適用します。歌のダイナミック・レンジが広い楽曲に適しています。

6) NORM NO GATE (ゲートなし) : NORMALからノイズゲートを除いた設定。

7) LESS BRIGHT NG (高域抑えめ、ゲートなし) : LESS BRIGHTからノイズゲートを除いた設定。

8) WARMTH NG (ウォームス、ゲートなし) : NORM + WARMTHからノイズゲートを除いた設定。

9) MORE COMP NG (コンプ強め、ゲートなし) : NORM + WARMTHからノイズゲートを除いた設定。

●セットアップ | 入力 (続き)

●Pitch Cor Amt (Pitch Correction Amount／ピッチ補正適用量)

VoiceLive Playが声に対して施すピッチ補正の適用量を設定します。

ピッチ補正を適用しながら自然なサウンドに仕上げたい場合は、適用量を50%以下で使用してみてください。

強制ピッチ補正の独特な効果を得たい場合は、適用量を100%近くに設定してみましょう。

ピッチ補正を初めて使う場合、声がダブリングされて聴こえてくる錯覚を覚えるかも知れません。これはピッチ補正によって修正された声と、自分の元の声の音程のズレにより発生する現象です。この錯覚は、ピッチ補正を使っていくうちに慣れてくるでしょう。またオーディエンスにはこのダブリング効果は聞き取れないので、安心してご使用ください。

●セットアップ | 出力

●Output (出力)

本項目では、VoiceLive Playのメイン出力の動作を設定します。メイン出力設定は、次の2種類から選べます。

1) STEREO - XLR (ステレオ - XLR) :

声、及びその他の全ての入力シグナルをステレオ出力します。

2) MONO - A MONO (モノラル - Aモノラル) :

フルミックス・シグナルをLチャンネル、ドライボーカル・シグナルをRチャンネルから出力します。アダプティブ・トーン、及びPitch Cor Amt (ピッチ補正適用量) で設定されている内容もRチャンネルに含まれます。

●Vocal Cancel (ボーカル・キャンセル)

AUX入力から入力された音声から、カラオケ・トラックを作成します。次の2設定から選べます。

1) OFF (オフ) :

ボーカル・キャンセルを行いません。

2) ON (オン) :

AUX入力から入力された音声の特定の周波数帯域を下げ、カラオケ・トラックを作成します。楽曲のミックスやボーカル成分の周波数分布によってその効果は異なります。楽曲から完全にボーカル成分を除去することは不可能ですので、予めご了承ください。

●Lead Mute (リードボーカル・ミュート)

リードボーカルをミュートし、エフェクト・プロセッシングされた音声のみを出力します。

1) OFF (オフ) :

リードボーカルもメイン・ミックスにルーティングされます。

2) ON (オン) :

メイン・ミックスからリードボーカルが除去され、エフェクト・プロセッシングされた音声のみが出力されます。

●Digital Out Level (デジタル出力レベル)

USB出力レベルを調整します。

●Headphone Lim (ヘッドフォン・リミッター)

ヘッドフォン出力リミッターの作動開始ポイントを設定します。0 dBに近いほど、ヘッドフォン出力レベルは高くなります。



●セットアップ | グローバル設定

●Global Key (グローバル・キー)

ハーモニー生成、及びピッチ補正を行う際にキー情報の参照元を設定します。

1) OFF (オフ) :

キー情報はプリセット毎に、直接キー指定 (C、D、F#、etc.) RoomSenseマイク、もしくはオート・モードにて設定できます。

2) ON (オン) :

あるプリセット内でキーが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたキーが継承されます。

●Global Tempo (グローバル・テンポ)

テンポ情報の参照元を設定します。

1) OFF (オフ) :

テンポ情報はプリセット毎に設定できます。

2) ON (オン) :

あるプリセット内でテンポが設定されると、他のプリセットに移動しても、設定されたテンポが継承されます。

●セットアップ | ループ機能

●Input (入力)

本項目では、ループに録音するオーディオ・ソースを設定します。設定は次の3種類から選べます。

1) LEAD MIX (リード・ミックス) :

マイク入力から入力された音声、及びその音声に対して付加されたエフェクト類がループに記録されます。

2) AUX (AUX入力) :

AUX入力から入力された音声がループに記録されます。

3) LEAD MIX AND AUX (リード・ミックス、及びAUX入力) :

リード・ミックス、及びAUX入力から入力された音声がループに記録されます。

●Undo (やり直し)

Undo (やり直し) 操作の有効／無効を設定します。

1) ON (オン) :

ループに対して行われた最後の変更内容をやり直すことができます。ON時のループ時間は最大15秒です。

2) OFF (オフ) :

ループのやり直し操作を無効にします。これによりループ領域用に確保されているメモリーをフルに活用することが可能となり、最大30秒のループを作成することが可能となります。

●Loop Feedback (ループ・フィードバック量)

多重レイヤーで構成されるループを作成する時、録音した100%の音量のままループを再生し続けると、レイヤーが増えるにつれ当然ループの音量も上がり続けます。その結果ループ音量がVoiceLive Playの出力能力を超え、歪みノイズが発生します。このノイズ発生を防ぐために、ループ・フィードバック量を設定します。新規ループ・レイヤーは100%の音量で録音されますが、既存のループは設定されたフィードバック音量でミックスされます。

ループ・フィードバック量は「90%」がひとつの目安になります。

●セットアップ | システム設定

●LCD Contrast (LCDコントラスト)

LCDディスプレイのコントラスト濃淡を調整します。

●UP/DN Function (▲UP/▼DOWNスイッチ機能設定)

▲UP/▼DOWNスイッチを長押しした時の動作を設定します。

1) LOOPING (ループ・モード) :

ループ・モードにアクセスします。

2) SET KEY (キー設定) :

キー/スケール設定モードにアクセスします。

●Lead Dly (リードボーカル・ディレイ処理)

ボーカルにエフェクト・プロセッシングを施す際、VoiceLive Playには処理遅延が発生します。この処理遅延時間を補填するために、リードボーカルのシグナルを遅らせるかどうかを設定します。この処理を行うことにより、完璧なタイミングでハーモニーなどの効果をリードボーカルに同期させることができます。

1) OFF (オフ) :

リードボーカルに対して遅延処理を行いません。

2) VOICE SYNC (ボーカル・シンクロ) :

全エフェクトをONにした時に発生し得る最大の処理遅延時間をリードボーカルに対して適用します。

3) AUTO (自動) :

現在有効となっているエフェクト・ブロックで発生し得る処理遅延時間をリードボーカルに対して付加します。使用されるエフェクト・ブロック数によって、VoiceLive Playは自動的に処理遅延時間をリードボーカルに適用ていきます。

●Tune Reference (リファレンス・ピッチ)

リファレンス・ピッチを0.5セント単位で変更できます。初期設定値は440 Hzになります。

●Pitch Pipe Level (ピッチパイプ・レベル)

Practice (練習) モードにおけるピッチパイプのレベルを調整します。

●搭載エフェクト

VoiceLive Playには下記のエフェクトが搭載されています。



μMod
モジュレーション



エコー&
ディレイ



リバーブ



ハーモニー



ダーリング



トランジスチューサー



トーン



ハードチューン
&
ピッチ補正

全てのエフェクトに共通のパラメーターは「Control（コントロール）」のみで、次の3つの設定から選択可能です。

●Control（コントロール）

エフェクトのOn/Offを切り替えます。

1) OFF（オフ）：

エフェクト・ブロックは無効となり、プロセッシングは行われません。

2) ON（オン）：

エフェクト・ブロックは有効となり、エフェクト・ブロック内で選択されているスタイルの効果をプロセッシングします。

3) HIT：

HITボタン、もしくはMP-75マイクに搭載のMicControlボタンを操作した場合にエフェクトがプロセッシングされます。

●エフェクト詳細 | μ Mod モジュレーション

● μ Modモジュレーション

μ Modエフェクト・ブロックには、フランジャー、フェイザー、パンナー、回転スピーカーなどのエフェクトが用意されています。パラメーターは次の2種類となります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

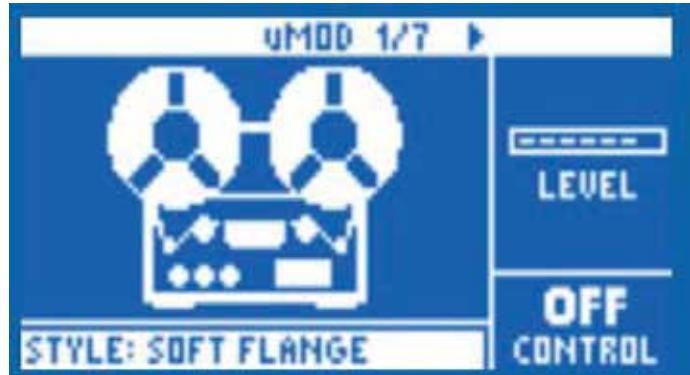
エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

エフェクト・ブロック内に用意されているエフェクトのスタイルを選択します。エフェクト・スタイル選択ページにアクセスするには、ディスプレイ左側に配置されている一番下のソフトボタンを押します。エフェクト・スタイル選択ページに入ったら、コントロール・ノブで任意のスタイルを選択してください。

● μ Modモジュレーション/エフェクト・スタイル一覧

1. MICROMOD CLONE
2. MICROMOD WIDER
3. THICKEN
4. LIGHT CHORUS
5. MEDIUM CHORUS
6. WIDE CHORUS
7. MONO CHORUS
8. FAST ROTOR
9. FLANGER
10. FLANGE FEEDBACK
11. FLANGE NEGATIVE
12. MONO FLANGE
13. SOFT FLANGE
14. PANNER
15. TUBE
16. UP TUBE
17. DOWN TUBE
18. DOWN & UP TUBE
19. RISE AND FALL
20. OTTAWA WIDE
21. CYLON MONO
22. CYLON STEREO
23. ALIEN VOICEOVER
24. UNDERWATER



●エフェクト詳細 | Delay (ディレイ)

●Delay (ディレイ)

ディレイ・エフェクトは、入力シグナルを反復し、いわゆる「山びこ」効果を演出するエフェクトです。

パラメーターは次の2種類となります。より詳細の設定を行いたい場合は「Advanced (アドバンスド)」モードに入ります。

1) Feedback (フィードバック) :

エフェクト・ブロックにシグナルを戻す量を設定します。この値が高ければ高いほど、ディレイ・エフェクトの反復回数が増えます。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

エフェクト・ブロック内に用意されているエフェクトのスタイルを選択します。エフェクト・スタイル選択ページにアクセスするには、ディスプレイ左側に配置されている一番下のソフトボタンを押します。エフェクト・スタイル選択ページに入ったら、コントロール・ノブで任意のスタイルを選択してください。

●Delay (ディレイ) / エフェクト・スタイル一覧

1. QUARTER
2. EIGHTH
3. TRIPLET
4. DOTTED
5. LONGDOT
6. LONGTRIP
7. SIXTEENTH
8. PINGPONG 1
9. PINGPONG 2
10. PINGPONG 3
11. MULTITAP 1
12. MULTITAP 2
13. MULTITAP 3
14. MULTITAP 4
15. MULTITAP 5
16. MULTITAP 6
17. CLASSICSLAP
18. SINGLESLAP



●Advanced (アドバンスド) モード

ディレイの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

3) Filter Style (フィルター・スタイル) :

次の13種類のフィルター設定から、ディレイのサウンド・スタイルが選択いただけます。

Digital, Tape, Analog, Radio, Megaphone, Cell Phone, Lo-Fi, Hi Cut 1, Hi Cut 2, Hi Cut 3, Low Cut 1, Low Cut 2, Low Cut 3

4) Tempo (テンポ) :

ディレイ・エフェクトのテンポをマニュアルで設定できます。テンポはプリセット毎に保存可能ですが、セットアップ・ページで「Global Tempo (グローバル・テンポ)」がOnに設定されている場合は、全プリセットがグローバル・テンポの基準に設定されたプリセットのテンポに追従します。

●エフェクト詳細 | Reverb (リバーブ)

●Reverb (リバーブ)

声に空間的な奥行きを与える残響エフェクトです。

エフェクト・ブロックを構成するパラメーターは、次の3種類となります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Decay (ディケイ) :

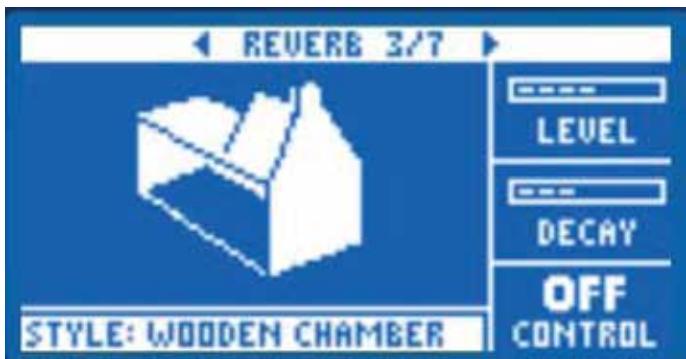
リバーブ効果が完全に消えるまでの減水時間を調整します。長い設定では広い空間を、短い設定では狭い空間を擬似的に演出できます。

3) Style (エフェクト・スタイル) :

疑似空間の広さと素材が選べます。

●Reverb (リバーブ) / エフェクト・スタイル一覧

1. SMOOTH PLATE
2. REFLECTION PLATE
3. THIN PLATE
4. BRIGHT PLATE
5. REAL PLATE
6. REAL PLATE LONG
7. JAZZ PLATE
8. QUICK PLATE
9. SOFT HALL
10. AMSTERDAM HALL
11. BROADWAY HALL
12. SNAPPY ROOM
13. LIBRARY
14. DARK ROOM
15. MUSIC CLUB
16. STUDIO ROOM
17. WAREHOUSE
18. BOUNCY ROOM
19. BRIGHT CHAMBER
20. WOODEN CHAMBER
21. ST. JOSEPH CHURCH
22. DOME CHAPEL
23. HOCKEY ARENA
24. MUSEUM
25. INDOOR ARENA
26. COZY CORNER
27. THIN SPRING
28. FULL SPRING



●エフェクト詳細 | Harmony (ハーモニー)

●Harmony (ハーモニー)

リードボーカルに対して自動でハーモニーを生成するエフェクトです。

パラメーターは次の3種類となります、より詳細の設定を行いたい場合は「Advanced (アドバンスド)」モードに入ります。

1) Level (エフェクト・レベル) :

エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の一番上のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Key (キー設定) :

ハーモニー生成で最も重要なのは、キーを正しく設定することです。キー設定を間違えて設定すると、楽曲に対して不協和音のハーモニーが生成されてしまいますのでご注意ください。キーの設定方法に次の2種類があります。

a) Auto (自動) : AUX入力に音声が入力されている場合はそのシグナルから優先的に自動でキー情報を抽出します。もしAUX入力に音声が入力されていない場合は、プリセットで設定されているキーを元にハーモニーを生成します。

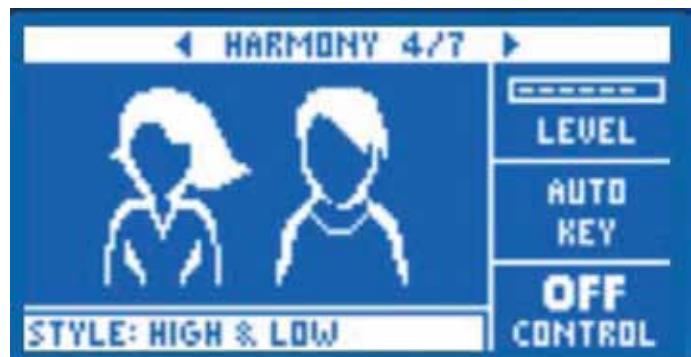
b) RoomSense : VoiceLive Playの内蔵マイクが空間音響からキー情報を抽出します。楽曲の根幹となるコードを奏でる楽器の側にVoiceLive Play本体を設置してください。

3) Style (ハーモニー・スタイル) :

ハーモニーの声数、及びハーモニーの演出スタイルが選べます。

●Harmony (ハーモニー) / エフェクト・スタイル一覧

1. HIGH
2. HIGHER
3. LOW
4. LOWER
5. OCTAVE UP
6. OCTAVE DOWN
7. HIGH & LOW
8. HIGH & HIGHER
9. HIGH & LOWER
10. HIGHER & LOWER
11. HIGHER & LOW
12. LOWER & LOW
13. OCT DOWN & UP
14. OCT DOWN & HIGHER
15. OCT DOWN & HIGH
16. OCT DOWN & LOW
17. OCT DOWN & LOWER
18. OCT UP & HIGHER
19. OCT UP & HIGH
20. OCT UP & LOW
21. OCT UP & LOWER
22. +7 SEMITONES
23. -5 SEMITONES
24. +7 &-5 SEMITONES
25. +12 &+7 SEMITONES
26. +12 & -5 SEMITONES
27. -12& +7 SEMITONES
28. -12 & -5 SEMITONES



●Advanced (アドバンスド) モード

ハーモニーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

4) Scale (スケール設定) :

キー設定が「Auto (自動)」ではなくマニュアル・モードの時、キーに対してスケール選択が可能です。スケール設定には次の6種類が用意されています。

- a) メジャー・スケール : Major 1、Major 2、Major 3
- b) マイナー・スケール : Minor 1、Minor 2、Minor 3

●エフェクト詳細 | Double (ダブリング)

●Double (ダブリング)

「ダブリング」や「シッケニング」と呼ばれる本エフェクトは、リードボーカルに対してユニゾン・ボーカルを複数足し、微量なタイミングと音色の変化を加え、厚みを持たせヌケを良くし、存在感を持ち上げるエフェクトです。パラメーターは次の2種類が用意されています。

1) Level (エフェクト・レベル) :

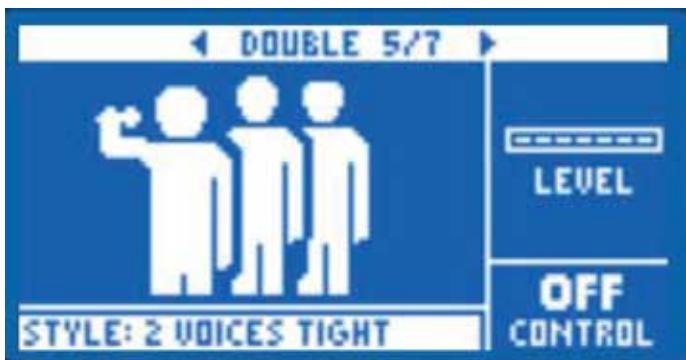
エフェクトのレベルを調整します。このパラメーターを選択するには、ディスプレイ右側の真ん中のソフトボタンを押します。パラメーター値はコントロール・ノブで変更します。本エフェクト・ブロックの最大レベルは0 dBとなります。

2) Style (エフェクト・スタイル) :

ダブリング・ボイスの声数とタイミングによって異なるスタイルが選択可能です。

●Double (ダブリング) / エフェクト・スタイル一覧

- 1 VOICE TIGHT
- 1 VOICE LOOSE
- 2 VOICES WIDE
4. SHOUT



※「TIGHT (タイト)」はリードボーカルに対して短い間隔でダブリング・ボイスを生成します。

「LOOSE (ルーズ)」は長めの間隔を持ち、よりエフェクト感が増します。

●エフェクト詳細 | HardTune (ハードチューン／強制ピッチ補正)

●HardTune (ハードチューン／強制ピッチ補正)

一般的に「シェール効果」、「オートチューン」、もしくは「ケロケロボイス」と呼ばれている特殊な効果を演出します。本エフェクトは次の3つのパラメーターにより構成されています。

1) Shift (シフト) :

入力音声の音程に対して、直近のセミトーン（半音）に強制的にピッチを補正します。補正ポイントはリードボーカルに対して上下各方向に12セミトーン（2オクターブ範囲）用意されています。

2) Gender (性別) :

声の性別をより女性的／男性的に変更することが可能です。極端な設定では不自然な結果になりますが、場合によってはそれをひとつ演出として効果的に使うのも面白いかも知れません。

3) Style (エフェクト・スタイル) :

ハードチューン・エフェクトの精度、スピード、そして強制の度合いによって異なるスタイルが選択できます。

●HardTune (ハードチューン／強制ピッチ補正) / エフェクト・スタイル一覧

1. POP
2. COUNTRY GLISS
3. ROBOT
4. CORRECT NATURAL
5. CORRECT CHROMATIC
6. DRONE
7. GENDER BENDER



●エフェクト詳細 | Transducer (トランステューサー)

●Transducer (トランステューサー)

歪みやその他のフィルター処理を行い、メガホン・ボイスなどの過激なエフェクトを生成します。

本エフェクト・ブロックは、次の3種類のパラメーターにより構成されています。

より細かい設定を行いたい場合は、Advanced (アドバンスド) メニューにアクセスします。

1) Drive (ドライブ) :

音声シグナルに対して付加するオーバードライブ適用量を調整します。

2) Filter (フィルター) :

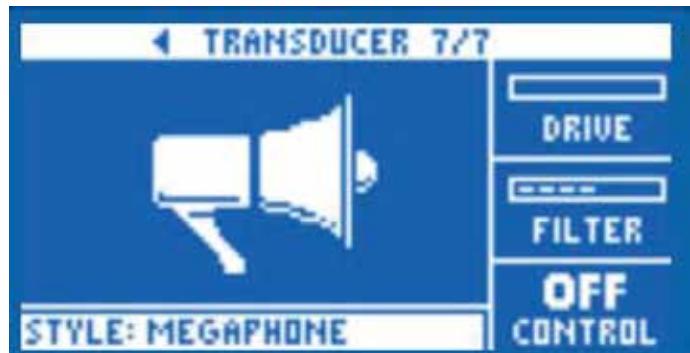
トランステューサー効果の広さを定義します。フィルターを狭くするとラジオ・ボイスのような効果を、広くすると迫力のあるメガホン・ボイスのような効果を得られます。スタイルによってフィルター効果は異なります。

3) Style (エフェクト・スタイル) :

エフェクトのスタイルを設定します。ディスプレイ画面の左横下に配置されているソフトボタンを押すと本メニューにアクセスできます。エフェクト・スタイルは下記の中から選べます。

●Transducer (トランステューサー) / エフェクト・スタイル一覧

1. MEGAPHONE
2. RADIO
3. ON THE PHONE
4. OVERDRIVE
5. BUZZ CUT
6. STACK
7. TWEED
8. COMBO



●Advanced (アドバンスド) モード

トランステューサーの詳細パラメーターを調整したい場合は、ディスプレイ横で青色に点灯しているボタンをどれか長押しし、Advancedモードに入ります。Advancedページには次のメニューが存在します。

4) Routing (ルーティング) :

選択されたオーディオ・パスにエフェクト処理を行います。

a) OUTPUT (出力) : リード・ボーカル、及びすべてのボイシング (ハーモニー/ダブリングなど) にエフェクトを適用します。

b) FX (エフェクト) : エフェクト成分 (ディレイ成分など) にのみ、トランステューサー・エフェクトを適用します。

5) Gate Threshold (ゲート・スレッショルド) :

トランステューサーはPAフィードバックが発生しやすいエフェクトのため、独自のノイズゲートを装備しております。スレッショルド値を高めに設定しておくと、高レベルの入力があった場合にのみエフェクトが作動するようになり、歌っていない箇所などでフィードバックが起こり

6) Gain (ゲイン) :

トランステューサー・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

●ミックス設定



「MIX（ミックス）」ボタンを押すと、VoiceLive Playの各エフェクト・ブロックや入出力のレベル調整が包括的に行えるミックス設定画面にアクセスできます。本ページには下記のパラメーターが用意されています。

1) Voices (ボイス) :

ハーモニーやダブリングなどのボイシング・エフェクトの全体的なレベルを調整します。

2) USB Level (USB入力レベル) :

USB端子から入力されるシグナルのレベルを調整します。

3) Out Level (出力レベル) :

VoiceLive Playの全体的な出力レベルを調整します。

4) Delay/Reverb (ディレイ/リバーブ・レベル) :

ディレイとリバーブ・エフェクトのレベルを調整します。

5) RoomSense (RoomSenseマイク入力レベル) :

内蔵「RoomSense」マイクの入力レベルを調整します。

6) Headphone Level (ヘッドフォン出力レベル) :

ヘッドフォンに出力されるレベルを調整します。

●Practice (練習) モード



「Practice (練習)」モードでは、あなたの歌のピッチ情報を詳細に表示できます。ピッチ精度はもちろん、声域幅、苦手なノートなどリアルタイムで把握することができます。ぜひこの機能をフル活用して、正確なピッチを鍛えるのに役立ててください。

Practiceモードで表示される項目は下記の5種類となります。

1) Range (レンジ) :

最も低いノートと最も高いノートを表示し、声域幅が確認できます。

2) Longest (持続長) :

最も長く発声されたノートの持続時間を示します。

3) Accuracy (ピッチ精度) :

発声ピッチの精度を示します。ログをリセットせずに長時間使用すると、より正確に自分のピッチ精度が把握できます。

4) Average (ピッチ精度平均値) :

ピッチ精度の平均値をセント（半音の1/100）単位に精度で分析します。自分の音感がシャープ気味なのかフラット気味なのか把握するのに役立つでしょう。

5) Problem Notes (「難あり」ノート) :

ピッチを外しやすい傾向のあるノートを示します。シャープ傾向にあるノートとフラット傾向にあるノートの2種類を表示します。

●トラブル・シューディング

「故障かな？」と思ったら、まずは下記をご確認ください。

●音が出ない・・・

- ・本体側面の「マイクゲイン・ツマミ」を調整し、LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
- ・ヘッドフォン、もしくはPAシステムに正しく接続されていることを確認してください。
- ・PAシステムをご使用の場合、PAシステムの配線が正しく結線されていることを確認してください。
- ・コンデンサー・マイクをご使用の場合、セットアップ・メニューでマイクの種類が「Condenser (コンデンサー)」に設定されていることを確認してください。

●ハーモニー・エフェクトが不協和音になる・・・

- ・キー／スケール設定が楽曲の内容に適切に設定されていることを確認してください。
- ・内蔵RoomSenseマイクを使用してキー検知を行っている場合、楽曲の根幹となるコードを奏でている楽器の側に製品本体を設置してみてください。
- ・mp3プレイヤーをAUX入力に接続している場合、セットアップ・メニュー内の「AUX IN TYPE (AUX入力タイプ)」が「Tracks」に設定されていることを確認してください。（楽曲のミックスによってキー検知の精度は異なります）

●エフェクトが反映されない・・・

- ・製品本体が「TALK」モードになっていないことをご確認ください。
- HITスイッチLEDが点滅している場合、HITスイッチを1回押して、通常オペレーション・モードに戻してご使用ください。

●プリセット内容を工場出荷状態に戻したい・・・

- ・電源投入時に、コントロール・ノブの両脇の左右の矢印ボタンを同時に長押ししてください。
- ※この操作を行うと全てのプリセット情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。

●製品を初期化したい・・・

- ・電源投入時に、「BACK」と「STORE」ボタンを同時に長押ししてください。
- ※この操作を行うと全てのプリセット、及びセットアップ情報が工場出荷状態に戻り、復元できなくなりますのでご注意ください。

★工場出荷状態に戻す操作を行う前に、必ずVoiceSupportアプリでバックアップを取るようにしましょう。

●プリセット一覧

1 ELVIRA O-R BOYS	61 MEMORIES WZR	121 WATCHA DERULO	181 MARBLE WALLS
2 KANYE LOCKDOWN	62 SOLDIER DIXIES	122 SHOW GOES LUPE	182 CLOCK RADIO
3 JAYLO ON FLOOR	63 FOLSOM CASH	123 STORY OF TAYLOR	183 DISTORTED RADIO
4 HIT DOUBLING	64 BLUE RHIMES	124 BILLIE J MJ	184 DISTORT DOWN
5 BARI WHITE	65 EASY FLATTS	125 COME 2GETHER	185 DARK RM DBL
6 PONG DELAY	66 LIKE U WERE DNG	126 TAKE IT EZ	186 CHORUS DLY DBL
7 GORGEOUS HALL	67 50 CENT CANDY	127 ENTER METALLICA	187 DISTORTED VOX
8 MEGAPHONE	68 WHERE THEM GRLS	128 BUILDING MYSTRY	188 SING GUITARSOLO
9 CLOSE UP 3RD	69 DON'T TREAD 311	129 TREWLY TIRED	189 FLANGER
10 CYBORG	70 TRU FAITH	130 TRAGIC COURAGE	190 ROTOR CABINET
11 EDGE OF GAGA	71 HOT IN HRRE	131 ALL I'VE USED	191 FALLING 4EVER
12 AMERICAN GRNDAY	72 HOLD IT AGAINST	132 WANNA SPICE?	192 AUTO WAWAWA
13 IN AIR 2NIGHT	73 HANDS UP	133 MORE EXEPTIONS	193 NICE CHORUS
14 GEDDIT STARTED	74 BABY BIEBER	134 PARADISE ROSE	194 STRANGE ECHO
15 TAYLOR SPARKS	75 TICKTOCK	135 NOVEMBER GUNS	195 MEGAPHONE ECHO
16 I AM EGGMAN	76 WE R WHO WE R	136 RED GRETCHEN	196 LONG TAPE ECHO
17 TEEN DREAM KP	77 FIX U	137 DON'T STAND SO	197 INHUMAN
18 BAREFOOT BLUEJN	78 LOLLIPOP	138 GET ON YR BOOTS	198 OCTAVE GANG
19 BOYS O' FALL	79 POKERFACE	139 M&M NOT AFR8D	199 1984
20 ON THEFLOOR JLO	80 RITE B4 YR EYES	140 HAPPY MUD VEIN	200 BUNCH O BASS
21 PINK MONEY	81 DJ GOT US FALLN	141 BEST EVER HAD	201 TUNED UP + DOWN
22 AS GOOD AS I WS	82 LIVING ON PRAYR	142 HILLS OF BEVRLY	202 TWO HIGH
23 LOVE WAY U LIE	83 SURRENDER	143 WKIN ON THE SUN	203 CHORALE THREE
24 HOW TA LOVE LIL	84 JUST WHAT INEED	144 STEREO GOLD DBL	204 RADIOHARMNYDLY
25 YMCA PEOPLE	85 DOG DAYS ROVER	145 GROUP SHOUT	205 POP DUO
26 PAPARAZZI	86 HURTS GOOD	146 DOUBLE DOWN	206 HI LO BACKUP
27 GTTA B SOMEBODY	87 BACK BLACK +OCT	147 DOUBLE UP	207 DEEP DOWN
28 THX 4 THE MMRS	88 PARTY ANTHEM	148 BEASTIE SHOUT	208 CLOSE 1UP+1DOWN
29 NO ONE ALICIA K	89 JAGGER MOVES	149 OCTAVE SHOUT	209 CLOSE BELOW
30 KRYPTONITE 3DD	90 GOODLIFE	150 ARENA CHANT	210 WET OCTAVE DN
31 HEY JUDE-Y	91 GEORGE M FAITH	151 EMJAY 2011	211 ONE UP ROOM
32 HOLD ON CORN	92 DYNAMITE CRUISE	152 TINKER BELL	212 COUNTRY GIRLS
33 SUMMER 1969	93 APOLOGIZE TLAND	153 THICKER YOU	213 POP TRIO
34 WANT U2 WANT ME	94 VIOL HILL	154 POPEYE	214 LOWER DUO
35 IN MY COLDPLACE	95 FASTLANE EAGLE	155 MALE TO FEMALE	215 LOWER + DOUBLE
36 CALI HOTEL	96 BENNIE & JETZ	156 DEEP TALKER	216 DARK SWIRL
37 BRING ME 2 LIFE	97 GO YR OWN WAY	157 TOTALLY ALIEN!	217 TWO LOW
38 EVER LONG FOO'S	98 2PRINCES S DOCS	158 OCT UP UNISON	218 FIFTH UP
39 GREEN HOLIDAY	99 WILDE HORSES	159 SPRING REVERB	219 UP TWO ROOM
40 I'LL COME4U NBK	100 STEVE MCQUEEN	160 PLATE VERB+DBL	220 SLAP ABOVE
41 SUPERMAN PEACE	101 RUNNING ON MT	161 PRACTICE ROOM	221 UPDN FLANGE DLY
42 BRICKWALL FLOYD	102 BELIEVE SHARE	162 JUST AMBIENCE	222 BEACHBOY RADIO
43 TALK 2 YA L8R	103 MOMENT SHANIA	163 OLD SPRING VERB	223 TUNED 2 UP
44 YOU BELONG W/ME	104 THIS LOVE M5	164 BRIGHT VERB	224 TUNED 1 BELOW
45 CLUB CANT HNDL	105 VOGUE MDONNA	165 CAVERNOUS VERB	225 GREGORIAN
46 LOVESONG MANSON	106 U GIVE LOVE B-N	166 BOUNCY ROOM	226 AUTOTUNE RADIO
47 ROLLIN DEEP	107 HOOCHIE MAN	167 MOD TAIL VERB	227 ELVIS RADIO
48 U MAKE ME COBRA	108 LIKE TN SPIRIT	168 ECHO VERB	228 DISTORTO
49 TGIF	109 B4 HE CHEATS	169 SLAP ROOM VERB	229 SOFT FLANGE
50 TAKE A B ROAD	110 GRENADE FM MARS	170 SINGLE SLAP	230 ROBO DELAY
51 LEICA LOVENS	111 I STILL HAVEN'T	171 ROCKABILLY SLAP	231 ROBO + DBL
52 SMILE AVRILL	112 DIRE STR8Z WALK	172 TAPE ECHO	232 AUTO PANNER
53 STRANGE GLOVE	113 CRAZY CLINE	173 PING PONG ECHO	233 OCTAVE FLANGE
54 FEELGD GORILLAS	114 GALAXIES OWL CT	174 LR RHYTHM ECHO	234 4TH SHIFT+OCTDN
55 PAIN JEATWRLD	115 TAKE IT OFF K\$A	175 TRIPLET ECHO	235 BLANK PRESET
56 HEAR 2 STAY	116 EVENFLOW JAM	176 LO FI ECHO	
57 CLOSER NIN	117 OFF SPRING JOB	177 LR M'PHONE ECHO	
58 LOSNG RELIGION	118 ROCKET MANN	178 1/4 DELAY	
59 THEN MORNIN CMS	119 CALIFORNIA KATY	179 LONG TRIP DELAY	
60 JST SAY YES SP	120 INTER GALACTIC	180 TOTAL IMMERSION	

